

## 意義や課題論点整理

学術会議の  
計画検討委



東北誘致

器の技術的課題などに関して各委員が抱いている現時点での印象や、今後詰めていくべきポイントなどを意見交換したという。

【東京支社】日本学術会議が設置した国際リニアコライダー（ILC）計画の見直し案に関する検討委員会（委員長・家泰弘日本学術振興会理事）は11日、都内で第4回会合を開き、これまでのヒアリングを踏まえて論点を整理した。

委員8人が出席し、非公開。出席者によると、ILC計画の物理的意義、加速

の論点を出してもらった。

次回は技術検証分科会と合同で論点を整理する。必要であれば、しかるべき人（参考人として）来てもらい、話をしてもらおう」と語った。

13日に分科会が会合を開き、参考人ヒアリングと論点整理を行う予定。18日には検討委と分科会で合同の会合を開く。